

科目コード	E2184	科目名	知的障害者の心理・生理・病理				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	加藤弘美 / 西山逸子						
授業の概要	知的障害者の心理特性、行動特性、認知特性など心理機能について、また知的障害をきたす主要な疾患の病態生理や症状の経年的変化などについて詳述し、特別支援教育の現場で必要とされる配慮や対処法、注意点についても解説する。また、観察や検査を通じた知的障害者の認知特性や適応行動の困難さの把握と理解、家庭や医療機関、その他関係機関との連携について講義する。						
DPとの関連	平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける						
	人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける						
	修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける						
	教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける						
	社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力						
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	知的発達遅れ及び適応行動の困難さの要因となる病理面や併存症・合併症と心理面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用について理解し、説明することができる。さらに、観察や検査を通して知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知特性を把握することを理解し、説明することができる。また、家庭や医療機関、その他関係機関との連携についての基礎的事項を理解し、説明することができる。						
履修上の注意事項	授業は配布資料を用いて進めますので、教科書は指定しません。授業中の私語、スマートフォンの使用等迷惑行為を禁止します。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	知的障害児の認知特性と発達支援 視覚【加藤弘美】				事前に配布する資料を熟読し、疑問点を整理しておくこと。事後には、授業資料を読み返し授業のポイントをシートにまとめておくこと。	
	2	知的障害児の認知特性と発達支援 記憶と数概念【加藤弘美】				事前に配布する資料を熟読し、疑問点を整理しておくこと。事後には、授業資料を読み返し授業のポイントをシートにまとめておくこと。	
	3	知的障害児の注意特性と動機づけの発達支援【加藤弘美】				事前に配布する資料を熟読し、疑問点を整理しておくこと。事後には、授業資料を読み返し授業のポイントをシートにまとめておくこと。	
	4	知的障害児の言語・コミュニケーションと発達支援【加藤弘美】				事前に配布する資料を熟読し、疑問点を整理しておくこと。事後には、授業資料を読み返し授業のポイントをシートにまとめておくこと。	
	5	検査から読み解く認知特性【加藤弘美】				事前に配布する資料を熟読し、疑問点を整理しておくこと。事後には、授業資料を読み返し授業のポイントをシートにまとめておくこと。	
	6	適応行動の困難さの把握と支援【加藤弘美】				事前に配布する資料を熟読し、疑問点を整理しておくこと。事後には、授業資料を読み返し授業のポイントをシートにまとめておくこと。	
	7	家庭や医療機関、その他関係機関との連携の在り方【加藤弘美】				事前に配布する資料を熟読し、疑問点を整理しておくこと。事後には、授業資料を読み返し授業のポイントをシートにまとめておくこと。	
	8	知的障害総論 定義と概念、診断基準と鑑別、原因とその分類【西山逸子】					
	9	知的障害総論 脳の構造・機能局在と知的障害との関連【西山逸子】					
	10	知的障害の病態生理 染色体異常・遺伝子異常症【西山逸子】					
	11	知的障害の病態生理 代謝異常症・変性疾患【西山逸子】					
	12	知的障害の病態生理 周産期異常および低出生体重児における併存症【西山逸子】					
	13	知的障害の病態生理 頭蓋内感染症 感染症の理解と予防【西山逸子】					
	14	知的障害の病態生理 脳血管障害・頭部外傷（不慮の事故）【西山逸子】					
	15	知的障害児に併存しやすい障害とその対処法および必要とされる配慮【西山逸子】					
成績評価方法	定期試験（100%） ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
参考書							
教員からのメッセージ	配布資料はファイリングし、授業時には持参すること。						
教員との連絡方法	授業の前後を利用して連絡すること。						
実務経験のある教員	前半担当教員は、心理士として発達相談、心理検査の実施に関わった実務経験を生かし、知的障害者の認知特性や適応行動の障害について事例を交えながら解説し、理解をうながす。						